

2023年度

なは市民協働大学院 事業概要書



主催：那覇市（まちづくり協働推進課）
業務受託者：NPO 法人地域サポートわかさ

ブログ「なは市民協働大学院」
フェイスブックページ

<https://nahabito2019.blogspot.com>
<https://www.facebook.com/nahabito/>



ブログ フェイスブック

なは市民協働大学院 2023 について

●事業目的

なは市民協働大学院2023は、地域課題の解決に向けた動きをつくり出すコーディネーター的人材の発掘・育成を目的としています。コーディネーター的人材とは、「地域の現状をしっかりと把握し、課題を発見・定義する視点を持った上で、地域に必要なプログラムをデザインし、その実現に必要な人材や組織をつなぐ(コーディネートする)ことで、地域課題を解決できる人材」です。本事業では、こうした人材に必要なスキルが学べるプログラム構成にしたほか、受講修了後に「地域コミュニティで活躍できる人材」「地域コミュニティをつなぐ人材」になるように促しました。

●コンセプト 「じっくり、しっかり、ちゃっかり」

なは市民協働大学院2023では、地域で「じっくり、しっかり、ちゃっかり」活躍できる人材の育成を目指しました。



じっくり

地域の現状を鳥の目、虫の目でじっくり観察、把握して、地域の中に隠れた課題を発見できる

しっかり

発見した課題に対して、関係する人々としっかりつなぎ、しっかりした企画をきちんと実現できる

ちゃっかり

課題に真摯に取り組むつも、周りのみんなとちゃっかり楽しんで、いつの間にかちゃっかり仲間を増やしている

●運営体制

なは市民協働大学院事業の受託者(NPO法人地域サポートわかさ)は、若狭公民館の指定管理者として文部科学省「第70回優良公民館表彰」において最優秀館に選ばれたほか、昨年度は「復帰50周年・うちなー地域づくり大賞」特別賞、「国際交流基金地球市民賞」「琉球新報活動賞」を受賞するなど、ユニークな地域づくりの取り組みは全国からも高い評価を得ています。これまでの活動で得たノウハウを活用し、行政(まちづくり協働推進課)とそれぞれの特性を生かしながら協働で講座を企画、運営を行いました。

また、地域で活躍するNPOや各専門家、なは市民協働大学院OBOG等による応援団「チアーズ」を結成し、受講生を伴走しながら応援すると同時に、講座で企画したアクションプランがより実現性の高いものになるように助言や人材紹介などに取り組んでいただきました。

さらに、講座以外でも日常的に意見交換、情報共有が行えるようにFacebookやLINEのグループを作成し、事務局と受講生の距離を縮め、継続的な関係づくりや双方向のサポート体制づくりに務めました。

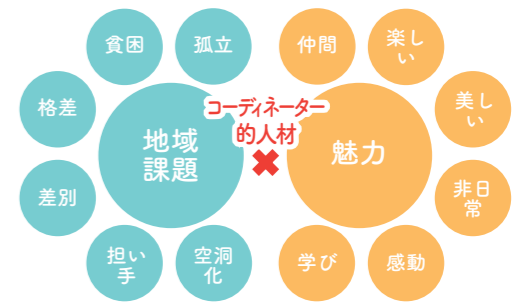


- 安谷屋貴子 | NPO法人COI コミュニティ・オーガナイザー
- 稲垣暁 | 一般社団法人災害プラットフォームおきなわ 理事
- 大仲るみ子 | 多文化ネットワークFuふ! 沖縄 代表
- 鎌田耕 | 観光危機管理研究所 代表理事
- 金城聡 | なは都市創造探偵団
- 島田聡子 | 那覇市協働によるまちづくり推進協議会 副会長
- 知念忠彦 | なは市民協議会
- 野原巴 | チームまちなか 代表
- 萩原雄三 | なはまちサロン
- 平中晴朗 | チームまちなか 副代表
- 宮道喜一 | 石嶺小学校区まちづくり協議会 子ども育成部会長
- 南信乃介 | NPO法人1万人井戸端会議 代表理事
- 本永万希子 | みんなのアイマイミー 代表
- 屋宜貢 | 那覇市大名小学校区まちづくり協議会 事務局長

育成プログラム

●地域課題 × 活動の魅力

地域課題の解決には特効薬がないため、市民が主体的かつ継続的に取り組む必要があります。そのため、地域の現状を把握し、適切な課題設定を行うと同時に、取り組み自体を楽しみと思える魅力あるものにしなければなりません。受講生を、地域課題と活動の魅力をかけ合わせ、様々な資源をつなげることができる人材となるよう、そのために必要なスキルや考え方(じっくり・しっかり・ちゃっかり)を学ぶプログラム構成にしました。



●実践に役立つ教材活用

教材には『企画づくりのじゃばら手帳』と『協働の手引き』を採用しました。『企画づくりのじゃばら手帳』は、企画の着想からニーズの把握、プログラム作成、そして実施後の事業評価や検証までの思考の流れを整理されるようにデザインされており、『協働の手引き』は、課題解決に向けて動く際に必要となる「協働」の視点について学べるようになっています。講座終了後の実践に活用できる資料となります。



●不完全プランニングとプラスクリエイティブ

企画づくりで重要な視点について、テレビ番組「情熱大陸」や「世界一受けたい授業」に出演経験のある永田宏和氏をお迎えし、課題をひっくり返して楽しい取り組みに変えるコツについて学びました。地域で活躍する人を「風・水・土」に例えてお話いただいたほか、完全無欠の計画ではなく、みんなが参加できる余地のある「不完全プランニング」と活動を魅力あるものにするための「プラスクリエイティブ」をセットで考えることが重要であると学びました。



●共感を広げるコミュニティ・オーガナイズ

どんなに素晴らしい企画をつくったとしても実現させるには仲間が必要です。共感を広げ仲間をつくり、それぞれの特性を活かした「協働」によって企画を実現させるために「コミュニティ・オーガナイズ」の考え方や手法について学びました。講師の安谷屋貴子氏には、チアーズとしても関わっていただき、講座全体を通して伴走していただきました。



●修了後に繋がるネットワーク

講座は、受講生が活動している、またはしたい地域ごとにチームをつくり取り組み、修了後も活動が継続・連携しやすくなるように促しました。また、関係者へのヒアリングや講座内で各ステークホルダーを交えて企画のブラッシュアップを行うなど、企画の実現性を高めると同時に、修了後にも活かせるネットワーク構築に努めました。



全体スケジュール

全8回の講座は、地域課題の発見から解決に向けた企画・運営の一連の流れについて、実行の直前段階まで順を追って学べるプログラム構成にしました。座学や実習をはじめ公開講座、合宿など、すべての要素が繋がり、より学びが深くなるように設計しています。また、講座時間以外でも、必要に応じて相談会を設け、受講生が内容を理解し、目標を達成できるように努めました。チアーズは、全体の進捗状況に応じて適宜会議を開催したほか、講座内で受講生への助言を行うなど、伴走しながら企画実現への後押しをしました。

受講募集	公開講座	今、なぜ「小学校区のまちづくり」なのか!?	講演: 牧野篤氏(東京大学大学院教授)/なは市民協働大学院2023について
	第1回	開講式・オリエンテーション	学長挨拶(知念覚市長)/全体自己紹介/チアーズ紹介/プログラム説明/チーム分け/チーム内ワーク/チーム決意表明
目標設定	第2回	地域を知る/地域調査と分析	講師: 稲垣暁・宮道喜一(災害プラットフォームおきなわ) 地域調査と分析/チーム内ワーク/発表・講師コメント
	第3回	地域を知る/地域調査と分析・課題設定	講師: 稲垣暁・宮道喜一(災害プラットフォームおきなわ) 各チーム宿題取組共有/地域調査と分析/チームディスカッション/発表・講師コメント
調査	第4回	地域課題 × 活動の魅力 ～不完全プランニングとプラスクリエイティブ	講師: 永田宏和氏(KIITOセンター長・NPO法人プラスアーツ理事長)/講話と質疑応答
	第5回	企画づくり強化合宿&中間発表 特別合宿	ロジックモデル仮説検証/企画アイデア出し/斜にかまえる・かまえないワーク/相互助言/中間発表
課題設定	第6回	共感を広げるコミュニティ・オーガナイズング	講師: 安谷屋貴子(NPO法人COJコミュニティ・オーガナイザー)/講話とワークショップ
	第7回	企画ブラッシュアップ/発表準備	各チームの企画に関わるステークホルダー(行政機関・地域団体等)と企画ブラッシュアップ/「プレゼンのコツ」講師: 石垣綾音(ファシリテーター)/最後の進捗確認・決意表明
企画	第8回	最終成果発表会・修了式	【最終成果発表会】 取り組み概要説明/アクションプラン発表/講評 【修了式】 学長挨拶(知念覚市長)/修了証・感謝状授与/修了生代表挨拶
	具現化	COG チャレンジ!! オープンガバナンス応募	

講座の様子

<p>第1回 開講式・オリエンテーション</p> 	<p>第2回 地域調査と分析</p> 	<p>第3回 地域調査と分析・課題設定</p> 
<p>第4回 地域課題 × 活動の魅力</p> 	<p>第5回(特別合宿) 企画づくり強化合宿/中間発表</p> 	<p>第6回 共感を広げるコミュニティ・オーガナイズング</p> 
<p>第7回 企画ブラッシュアップ/発表準備</p> 	<p>第8回 最終成果発表会・修了式</p> 	

相談会



講座以外に、地域調査・分析を行う段階で2回のオンライン相談会を実施したほか、個別の相談にも対応しました。また、全講座修了後にも、COGチャレンジ!! オープンガバナンスに応募するチームの企画ブラッシュアップやポスター制作の助言等を行いました。

新都心・縁(えにし) チーム



【対象校区】 銘苅小学校区

【メンバー】

小橋川 さくら・坂井 浩二
城間 幹子・比嘉 学

縁に繋がる1つの種まき 「ワンちゃんメーサミット」

■誰のどんな課題か?

新都心地域の方の「コロナ禍で人とのつながりが薄くなった」課題

■企画内容

新都心の多様な世帯の中の動物好きな人をターゲットにし、楽しくゆんたくできる場を新都心公園につくる。

地域で開催される祭りにブースを出してアンケートをとり、地域の生の声を集める。

アンケート実施後、地域のニーズを捉え、自治会やまちづくり協議体、動物関係の企業やペット愛好家の方達と協働で繋がるまちづくりを行う。

動物好きな方をターゲットを皮切りに、「未完成なまち」新都心の地域を繋がる街に作り上げていく。



チアーズ
平中さんのコメント

私も新都心に住んでいる移住者。現状を捉えてらっしゃると思った。目的を動物と限定したことが集まれる可能性が高まり非常に良い。動物病院なども巻き込める。「動物×子ども」「動物×スポーツ」など新たな発展もあるのかなと思ひ、楽しみにしている。

那覇西GOGO!



【対象校区】 天妃小学校区

【メンバー】

OJHA LAXMAN・高橋 海奏
当山 彩子

防災食の多様性を広げる 「AMMA ブランド」プロジェクト

■誰のどんな課題か?

在沖ネパール人学生が地域と交流しながら防災を学べる機会がないことからその課題解決をするため休日の朝の時間を活用し、食を通して防災の知識を身につけるコミュニティ作りを企画する。さらには、この場で持ち寄られたネパールの朝食から将来的には、ハラール対応の防災食の開発を目指す。

■企画内容

在沖ネパール人との協働でつくる防災に強い街づくりを目的としたコミュニティの場「アンマーモーニング」を企画する。アンマーモーニングでは、天妃小学校区を中心にその地域周辺に住んでいる在沖ネパール人をはじめ地域の「防災に関心がある人」「異文化交流に関心がある人」「何か楽しいことをしたい人」を集め持ち寄りの朝食をみんなでシェアしながら、防災について語り、持ち寄った朝食のメニューをハラール対応の防災食の開発へと進めたいと考えている。また、那覇西エリアにある日本語学校の学祭や地域のイベントではその防災食を使った炊き出しの実演を実施していく。



チアーズ
知念さんのコメント

地域課題をよく把握して、焦点を絞って、構成員の仲間を有効に活用して、プレゼンも非常に上手だった。防災に取り組んでいる(一社)災害プラットフォームおきなわのメンバーは、なは市民協働大学院の事務局やチアーズなど関わりが深い人も多い。ぜひ巻き込んでほしい。

たのしむぞ〜06(小祿)!



【対象校区】 小祿南小学校区

【メンバー】

石垣 真由美・加島 鈴乃
我那覇 健太・平良 和
照屋 里沙・仲間 友作

近所の公園が私のお庭プロジェクト

■誰のどんな課題か?

小祿1丁目は自治会空白地域であり、集合住宅も多く、住民同士のつながりが希薄。加えて子ども会が消滅し、民生委も欠員の状況。海拔が低い上に、小学校通学路には冠水しやすい地点もあるため「もしもの時」のために、集合住宅に住む世帯をはじめとする住民同士の顔の見える関係性づくりが必要と考える。

■企画内容

鏡原中学校からほど近い「ひよどり公園」を活用した企画に挑戦する。利用申請やTODOも含め、スキルアップが不可欠なため、キックオフを実施。公園アンケートから、ひよどり公園は好きだけど、ベンチのペンキ剥げが嫌だという声を受け、ペンキ塗りワークショップを実施。マンション住人憧れの「私のお庭」を、自分たちで作りに上げていく取り組みは、近隣の住民へのイベント告知や、参加ハードルを下げるための目的も。余白を残した飛び入り参加型、そして自己実現の場としての「ばかばかイベント」へ繋げていく予定。継続的に実施していくために、ユネスコSDGsパスポートを活用しながら、1丁目メンバーを拡大していく。



チアーズ
鎌田さんのコメント

少子高齢化に真正面から取り組むテーマ。自治会空白地帯、繋がりが希薄、もしもの時のために顔の見える関係性を平常時から行う、明確でクリアな問題設定。これからの課題は継続性、地域の仕組みとしてどう続けていくか、担い手不足に取り組む魅力ある企画。私も参加してみたい。

いちゃりば真和志



【対象校区】 松川小学校区

【メンバー】

金城 辰美・髙原 聡
當間 尊子・永井 幸恵
波平 聡・松永 清彦
古堅 大輔・吉里 明

リアルドラクエ つなぐ31万人グループへの挑戦

■誰のどんな課題か?

地域コミュニティの希薄化を感じている中、松川地域で開催したスタンプラリーイベントにて参加者にアンケートを取ったところ、約3割の人から「もっと地域の人とつながりたい」と回答があった。那覇市の自治会加入率は、14.9%と低く、市域の3割に及ぶ地域には自治会の無い空白地域となっている。

そのことから、「地域とつながりたいが、どうしたらいいかわからない人」をターゲットに企画した。

■企画内容

地域の人が集える場所「松川ビハナバザール」を開催する。ビハナバザールは、「ドラクエウォークラリー」、「ダストバスターズ」、「ポッチャ体験」、「フリーマーケット」などの催しを行い、誰もが楽しめる空間を作り、人が集える場所にする。

人が集い、新たなアイデアが生まれれば、それを展開するなど、決まった形にとらわれず、常に進化するバザールとする。

松川での成功を皮切りに識名、上間と広げ市内全域で開催し、ビハナバザールを通して全市民のつながりを作っていく。これもドラクエでしょ!



チアーズ
本永さんのコメント

昔と今、わかりやすく情景が浮かんできた。人数が多いだけにまとめるのが大変だったと思うが、チームワークの良く、既にスタートして清掃活動に入っている行動力が素晴らしい。皆さん仕事もあり集まるのが難しいので、オープンチャットも活用してほしい。ビハナバザールに私も入れてほしい。

中心市街地チーム



【対象校区】 那覇小学校区

【メンバー】

糸数 貴子・館岡 舞
知念 日和・奈良 蓮

ココに居たから助かった！ 防災商店街ができるまで

■誰のどんな課題か？

沖映通りが、津波災害警戒区域にあること、観光客や市外通勤者等のいわゆる災害弱者が多く存在する場所であること、独自の自主防災組織が設立されていないことに着目した。

■企画内容

防災に強い商店街を増やすためのモデル事業として、沖映通りが防災に強い商店街になるまでの長期計画を作り、全国に広げていく。まずは2ヶ月単位であらゆる事業を展開していく。例えば、最初の2ヶ月で防災アンケートの実施と集計、次の2カ月でアンケート結果をもとにした意見交換会の開催、また次の2カ月では防災トークイベントの開催などなど。年間を通しては、津波避難ビルステッカーや防災パンフレットの作成、防災スタンプラリーの開催、消防訓練などといった取り組みを行う。そして、1年後に防災アンケートを再度実施し、防災意識の変化や新たな課題を探る。2年を経過する頃には、近隣マンションなどで住民による自主防災組織もできているという未来を想定している。



チアーズ
宮道さんのコメント

美栄橋駅が津波避難ビルに認定されていることなど、知らなかったことを知ることができた。アンケートして話し合っ、調べていくところから企画に組み込んでいったのは素晴らしい。商店街のステークホルダーってたくさんある。対象は広げてもいいのかな。将来的なビジョンが見えてきた。

首里チーム



【対象校区】 石嶺小学校区

【メンバー】

内間 直子・神谷 あゆみ
金城 亮太・崎山 裕太
土屋 恭子

放課後居場所づくり 「わくわく嶺っ子クラブ」

■誰のどんな課題か？

人々がより良く生きる環境をつくるため、地域に関わる人々の素敵なふるさとづくりを行う。

具体的に、居心地の良い居場所づくりをこどもたちの活動を通して放課後子ども居場所づくり「わくわく嶺っ子クラブ」(別称:ミネコヤ)を実施する。

■企画内容

石嶺地域は自治会がない地域が多く、加えて、公園や児童館、広場が少ないなど、地域の人が顔を合わせる拠点が無い状況。地域づくりのためにも、子どもたちが安心して過ごせる場所や多世代交流の拠点や仕掛けがあると良い、という声がある。生活の中で関わった地域が素敵な場所だったと思える事は、幸せなこと。その幸福感が安全・安心に暮らせる環境を整え生活基盤を維持する事に繋がると考える。

今回、地域資源(人、モノ、場所)を活用しながら大人も一緒に取り組めるワークを主軸とした放課後子ども教室を立上げ、子どもたちが安心して過ごせる時間をつくることで、地域の人々と素敵なふるさとをつくる。



チアーズ
金城さんのコメント

地域・地元への愛を感じ、最後にふさわしい発表だった。心の拠り所、ふるさとを作りたい。居心地のいい場所。日常をつくることと非日常を感じさせる、バラエティにとんだ楽しみがある。誰かがいろいろな思いを感じる瞬間を皆さんが作り出そうとしていることに感銘を受けた。

●フィールドワークとトライアル

受講生は、地域課題解決に向けたワクワクする企画づくりを行うために、講座外でもチームごとに対象校区のフィールドワークやキーパーソンへのヒアリング、実践活動のトライアルを行い、現状把握と課題設定の精度を高めました。地域で活動する中で、協働の関係性が広がると同時に、展開のイメージがより明確になり、大学院修了後も活動を継続、発展させています。



中心市街地チーム 防災まち歩きを実施
新都心・緑(えにし)チーム 地域イベントでアンケート
首里チーム 居場所「ミネコヤ」実施
たのしむぞ〜06! 公園ベンチのペンキ塗り
いちやれば真和志 公園清掃を継続
那覇西 GOGO! ネパール人との交流

COG チャレンジ!! オープンガバナンス応募

地域課題に市民/学生が当事者目線で取り組む企画コンペ「COGチャレンジ!! オープンガバナンス」(主催:東京大学)に、なほ市民協働大学院2023受講生から5チームがエントリーしました。大学院で取り組んだ企画をさらにブラッシュアップして臨んだところ、ファイナリスト12チームに2チームが選ばれました! 3月17日に東京大学で開催される最終公開審査に、「たのしむぞ〜06!」「チームAMMA(那覇西 GOGO!)」が参加します。

たのしむぞ〜06! 「近所の公園が私のお庭プロジェクト」



チーム AMMA (那覇西 GOGO!) 「AMMA (アンマー) プロジェクト」



各チーム応募ポスター



たのしむぞ〜06! 中心市街地チーム いちやれば真和志 首里チーム チーム AMMA (那覇西 GOGO!)

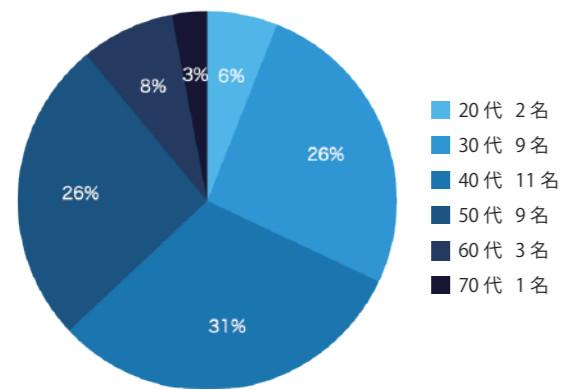
受講結果

●受講生について

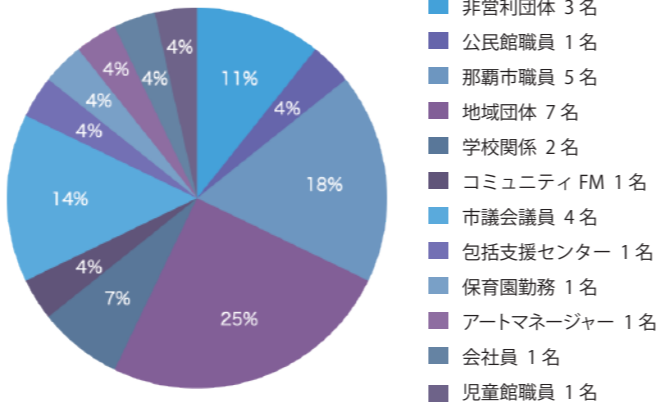
受講生募集については、募集期間中に公開講座を開催したほか、チラシや那覇市ホームページの他、SNS等を活用し、周知に注力しました。その結果、受講定員を上回る35名の申し込みがあまりました。世代や属性は幅広く様々で、新規受講率は100%でした。受講生は、すでに地域活動を行なっている方がほとんどで、「なは市民協働大学」の上級編としての位置づけどおり、地域の実情に即した実践的な取り組みを行うことができました。今年度は、受講生の88%以上となる31名が修了しました。

修了生 **31名** / 受講生 **35名**

【受講生の世代】



【受講生の属性】



●受講生の声

良かった点、印象に残ったこと

- ・合宿で企画のまとまりが出てきた実感がありました。また、チームメンバーのそれぞれの所属、得意分野を生かして対外調整やリサーチができたこと。「斜にかまえた」ことも楽しかった!
- ・こんなに熱い人たちが地域にいることを知れたこと。繋がれたこと。
- ・「課題解決は、価値創造」という内容が、とてもよかった。不完全プランニングというキーワードも印象的。
- ・地域とのかかわり方で、土の人、水の人、風の人といった視点でとらえることで、自分の立ち位置を冷静に見極めることができる。いろいろなことが「目から鱗」。
- ・コミュニティ・オーガナイズングや、プレゼンテーション講座は勉強になり、マンパワーの力、想像力など、協働で繋がる強みを改めて気付かされ、実行して行こうと思いました。
- ・「合宿」で遅くまで家のことや仕事のことから離れ集中してがっつりできたのは良かったです。
- ・講座そのものは勿論、合間にチームで行った打合せ・街歩き・ヒアリング等のワークは、どれも印象深い。

本講座を通じて学んだことや変化

- ・勇気を出してまずはやってみる(飛び込んでみる)ことの大事さを認識できた。難儀(面倒くさい)なことでも楽しくとらえることが、重要。
- ・次のステップがこの講座を通して決まりました。それが何よりの変化です!
- ・つながりを得られたこと、地域に愛を感じる事ができたこと。
- ・周りの巻き込み力が必要であることを深く学びました。
- ・他分野の方と、それぞれの得意な分野を生かして1つのことに取り組むこと、楽しむこと!
- ・地域で活動する仲間がいること。課題への視点の持ちかたなどを学ぶことができました。



修了生挨拶（修了生代表：たのしむぞ〜06!）

やわらかな冬の光につつまれた喜びの今
 ぼくたち 私たちは なは市民協働大学院を修了します!

7月11日 待ちに待った開講式。市長が学長で、元市長が同級生って豪華すぎ!と驚いた。グループ分けして、カードゲームが楽しかった!

8月1日 地域調査と分析。台風6号まさかのオンライン停電で離脱する人、暗闇から参加する人、続出したチームの活動もオンラインを駆使して工夫して進めて行った

8月22日 地域調査と分析。課題設定
 この地域でやっていこうと覚悟を決めた
 講座の合間は、仕事の後のミーティングを仲間と一緒に楽しんだ
 町歩きは何故かいつも雨…(小禄チームに限る)
 アイディア出しに欠かせないのはやっぱりビール

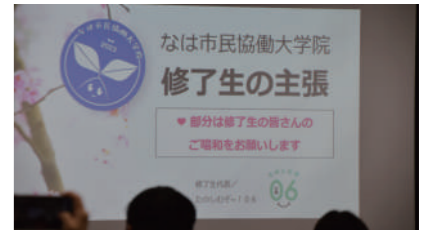
9月12日 不完全プランニング。頭に残った パンじい
 私たちの企画はよい「種」になっているか何度も考えた

9月30日~10月1日 カレーでいっぱい頭で迎えた みんな合宿
 斜に構える/構えない 広い視点で企画を見つめる練習をした
 ダメ出しをされる黒糖 事務局へ緊張の中間報告を終え
 黒糖にとっても親近感が沸いた
 夜のお楽しみは白熱したカレー対決
 そして夜中まで企画を練って練って練りまくった
 翌朝のご飯までフルサポート ありがとうございます

10月24日 コミュニティ・オーガナイズング
 伝え方を練習し、自分の大事にしたいことをふりかえりました

11月14日 ステークホルダーと遭遇
 交流のつぼ!とにかく楽しく生み出されるアイディア 心強く感じました
 そして今日は最終成果発表会

今日がゴールではありません。私たちはこれからも走り続けます!





なは市民協働大学院 2023